

## ADB、学生論文コンテストの締め切り延長

[マニラ フィリピン 2006年10月25日] アジア開発銀行(ADB)は、現在募集中の「アジア太平洋地域の持続可能な開発」に関するエッセイコンテストの提出期限を1ヶ月間延長しました。

当コンテストは、2007年5月6-7日に京都で開催される第40回ADB年次総会に先立つイベントで、ADBと開発に関心のある学生ネットワークであるROADが取りまとめている一週間のイベントの一環です。

このコンテストは、今日の若者が生活し、働き、統治するであろう未来の世界へのビジョンを若者たちが広く知らしめる機会を提供しています。より多くの学生の参加を促すため、今月末に設定されていた締め切りを1ヶ月間延長し、11月30日にしました。すでに20カ国以上の学生からの論文提出がありました。

18歳から29歳までのADB開発途上加盟国の大学生・院生、及び日本の大学で学ぶ日本の大学生・院生が参加でき、英文2,000字までの論文を競い合います。

論文は、自国または地域からの視点で、以下の3つのテーマの一つについて触れる必要があります。

1) 経済成長と環境保全、2) 人的資源開発と制度構築、3) 産業とインフラ。

3人の開発専門家が、思考の独自性・創造性、議論の構造とまとまり、作者の環境と現実の中での持続的成長への認識、そしてテーマへの関連性に基づいて、論文を審査します。テーマについての専門的な知識や完璧な英文法は審査の基準ではありません。

ADBの5地域(中央・西アジア、東アジア、太平洋地域、南アジア、東南アジア)から合計15名の入賞者が選抜され、これに加えて、日本の大学で学ぶ学生から10名選ばれ、そのうち7名はADBの開発途上加盟国の留学生から、3名は日本人から選ばれます。

25名の入賞者は、2007年3月に京都で行なわれるアジア太平洋ユースフォーラム(テーマ: 持続的開発、2日間)を含む1週間の教育的活動に招待されます。フォーラムで、入賞者は持続的開発について議論する機会が与えられ、持続的開発の若者宣言を採択して終了いたします。この宣言は第40回ADB年次総会に提示され、また、入賞した論文は本にまとめられます。

論文は、基本的にオンラインで提出。インターネットが使えない人は、近くにあるADB事務所に提出可能です。

このコンテストは、日本政府がADBの技術支援のために拠出しADBが管理している日本特別基金が支援しています。

論文の提出方法などの詳細は下記のウェブサイトをご覧ください。

<http://www.adb.org/AnnualMeeting/2007/Essay-Competition/>

### Media Inquiries Only

Sachiko Sakamaki  
Tel: +81 3 3504 3160  
Email: [ssakamaki@adb.org](mailto:ssakamaki@adb.org)

### Electronic versions of ADB news releases

ADB Online Media Center: [media.adb.org](http://media.adb.org)  
ADB web site: [www.adb.org](http://www.adb.org)